

第2回長期計画策定会議及び小委員会における主な意見

21.5.12

第2回策定会議における主な意見	
1	ボランティア数だけでなく、区民が参加できる水と緑の活用に関する委員会の設置などに関する指標も加えてはどうか。
2	施策レベルは、大括りの表現でよいが、サブ施策及び指標は、区民に身近な表現が求められる。
3	ネットワークや連続性については数値指標ではなく、定性的に評価する方法を検討する必要がある。
4	指標を並べて施策を見ると、全てが同じウェイトで位置づけられているように見える。少数の人にしか関係しないが非常に重要な施策や、大勢の人にメリットがあり優先すべき施策など、施策間の性質の違いが見えにくくなる。
5	指標や「施策が目指す江東区の姿」については、メッセージ性を持った表現にすべきだと思う。
6	一人当たりの指標は、今後の人口増加に伴い、成果が出ても指標に反映されない恐れがある。人口増により影響を受ける箇所は再検討が必要である。

第2回小委員会における主な意見	
1	「施策を実現するためのサブ施策」という表現は、区民が読み手となったときに分かりにくいのではないか。また、「目的・取組み」の記載についても、両者の違いが不明確である。
2	指標やサブ施策の取組みの記載は、区民にとって分かりやすい表現でないと、理解は得られないと思う。